

こんにちは婦人会「さくら」です

秋の夜長、虫の声が心地よい季節となりました。秋分の日を過ぎると、「秋の日はつるべ落とし」と言われるように陽が沈むのが日に日に早くなり夜が長くなります。ここで、秋の夜長に「読書の秋」なんてかっこよく書きたいのですが、編集人はやっぱり食欲の秋です。なんと、秋の味覚の秋刀魚がようやく食卓に上がりました。焼きたての秋刀魚に大根おろしを添えて・・・美味しかった！！　どうやら今年も編集人は、豚肥ゆる秋のようです。

～婦人会・暮らしのエッセンス～

ちょっと涼しくなった9月の中ごろ、突然茎がスルスルと伸びて、鮮やかな赤い彼岸花が咲きました。毎年咲いてくれるのですが、土中の球根状態からどのようにしてお彼岸の時期を知るのかと不思議に思います。

彼岸花は、花が咲く時に葉がなく、葉が茂るときに花がないことから「花は葉知らず、葉は花知らず」と言われています。別名、曼珠沙華と呼ばれていますが、サンスクリット語で「赤い花天上の花」の意味で、おめでたい事が起こる兆しに赤い花が天から降ってくるという仏教の経典からきているようです。



婦人会「さくら」
平成26年9月25日
第152号